

山口労働局 社会人採用者 インタビュー



厚生労働省
山口労働局

山口労働局に社会人採用試験を経て、就職した職員に11の質問をしました。

山口県内の労働基準監督署やハローワークで働く社会人採用職員のリアルボイスをお聞きください。

あなたにもきっとできる。
誰かを笑顔にするしごと。

 山口労働局は、局内部室、労働基準監督署、ハローワークなどを通じて、山口県の「働く」を支える厚生労働省の地方機関です。

- Q1 前職ではどのような仕事をしていましたか？
- Q2 山口労働局の社会人選考を知ったきっかけは？
- Q3 なぜ、山口労働局の社会人選考に応募しようと思いましたが？
- Q4 今までやっていた仕事を辞め、新たな職場で勤務することへの不安とその克服方法は？
- Q5 今、どのような業務を行っていますか？
- Q6 これまでの経験の中で今の業務に生かしていると思う点はどんなところですか？
- Q7 これまで働いていた職場（民間企業等）と現在の職場では、どのような違いがありますか？
- Q8 山口労働局に入省してからの苦労とその克服方法は？
- Q9 職場の雰囲気はどうですか？
- Q10 今後の目標は？
- Q11 社会人採用を目指す人へのメッセージをお願いします。



Q1 前職ではどのような仕事をしていましたか？


インターネットサービス提供会社のサポート窓口で、オペレーターでは対処しきれない異常について対応する業務についていました。



広島のとある書店で働いていました。

元々、本が好きで主に書店の店長をやっていましたが、様々な事業をやっている会社でしたので、最後はフィットネスジムの店長をやっていました。





Q2

山口労働局の社会人選考を知ったきっかけは？

山口労働局のホームページを見て知りました。

今までの経験を活かしステップアップしたいと転職を決意した当日に、ハローワークで山口労働局の求人を偶然見かけて知りました。

ショッピングモールのフードコートに置いてあったハローワークの求人冊子を見て知りました。

Q3


なぜ、
山口労働局の社会人選考に
応募しようと思いましたが？

行政に携わることで、これまで以上に広く地域経済や社会のために働きたいと考えたためです。

今までの経験が労働局の業務で実際にどのように生かすことができるのか定まっておらず、
応募に躊躇していました。

そこで、相談に行ったハローワークで背中を押してもらいました。また、電話や窓口で丁寧
に対応してもらったことにとっても驚き、私も一緒に働きたいと思いました。

Q4 今までやっていた仕事を辞め、
新たな職場で勤務することへの不安とその克服方法は？



不安よりは、これまでの経験や知識を生かして新しい業務にチャレンジしたいという前向きな気持ちの方が大きかったです。

入省前は業務に関連する書籍に目を通し、備えました。

克服とまではいきませんが、私が心掛けているのは、3か月から半年程度で目標を作るようにしています。

新しい職場で最初は何もできない時に焦ってしまうと精神的に辛くなってしまうので、「今は出来ないのは当たり前、3か月後に出来ていれば良い。」と考えるようにしています。

Q5 今、どのような業務を行っていますか？

【労働基準監督勤務のAさん】

主に、労災事故に係る治療費や休業中の補償等の請求に対する審査を行っています。1つ1つの審査に時間がかかり、漏れも多いですが、先輩職員や上司のサポートを受け、日々業務を行っています。

また、窓口や電話対応など可能な限り積極的に行うようにしています。

【ハローワーク勤務のBさん】

求人に関する業務を担当しています。主に事業主から依頼された求人の内容が法令に沿ったものであるかの確認、合同面接会の準備を行っています。

また、電話や窓口で求人に関する相談対応や助言なども行っています。



Q6 これまでの経験の中で今の業務に 生かしていると思う点はどんな ところですか？

相談される方の思いを傾聴し、同じ目線での対話を通じ、最終的に相談してよかったと思っただけの結果に結びつけることが相談援助業務のやりがいです。

「働く」ということに関連し、相談に来所される方が抱える悩みは様々ですが、労働行政においてもこれまでと同様に取り組んでいきたいです。

社会保険労務士の受験勉強と業務経験で得た、社会保険・労働保険の基礎知識は今の職場でも役に立っています。

また、社会保険労務士になる以前の職場においても、事業所の方々へ労務管理等について説明する機会が多くあり、その時培ったコミュニケーション能力は窓口業務で生かしています。



Q7

これまで働いていた職場(民間企業等)と現在の職場では、どのような違いがありますか？

民間企業では、自社や事業所のためになることを第一に業務を行っていました。一方、労働局は公的機関のため、中立性を意識して業務を行っています。

今までの職場でも一定のルールに沿った対応をしていましたが、公共サービスにおいては、より公正、公平な立場で法令を守り、正確で迅速な対応を求められます。

また、業務内容が多岐にわたるため、効率的に業務把握ができるように、また、キャリアを考えた研修制度が充実しています。



Q8

山口労働局に入省してからの苦勞とその克服方法は？

【ハローワーク勤務のCさん】

入省後は、窓口で障害のある方の職業相談をすることになり、個々の障害の特性や事情等を素早く認識しながら対応することに難しさを感じています。

日々の業務では、疑問点や不安なことは先輩方によく質問し、次はこう対応しようと考えていくことで克服できるよう心掛けています。

【労働基準監督署勤務のDさん】

労災給付も適用徴収も数多ある法令や通達に基づいて行われており、業務に必要なこれらの知識が絶対的に足りていないことを痛感しました。まずは、上司や先輩に相談しつつ処理を行い、必要な根拠資料を収集・整理していくことで、知識の習得に務めるようにしています。



Q9

職場の雰囲気はどうか？

雰囲気は良いです。何度質問しても嫌な顔一つせずに答えてくれますので、萎縮することなく質問ができます。また、経験談も踏まえて話してもらえるので、説明もとても分かりやすいです。

物品の場所が分からなくて質問したときも、自身の手を止めて一緒に探してくれたりするので、優しい先輩に恵まれたなと思います。

職場にはみんなで相互に気遣い、フォローしようとする雰囲気があり、とても働きやすい職場だと感じます。

専門性が高く、効率的に業務を進めることが求められています。業務遂行に当たっては、ただ黙々と業務をするのではなく、調査資料の評価や参考資料の解釈などをめぐり、活発に議論を行ったりもしています。



Q10 今後の目標は？


1日も早く、戦力の一人として業務を行うことが目標です。そのために、今は業務の基礎となる知識を蓄えて実践し、先輩職員の指導を受けて、経験を蓄えたいです。

業務に関連する資格取得にチャレンジしたいと思います。業務を通じて自分自身も成長しながら、初心を忘れず、「ハローワークに相談してよかった!」という方が一人でも増えるように、自己研鑽していきたいです。

法律、要領等の根拠に基づき、自信をもって業務ができるようになること、来庁された方々の話を親身に聴きつつも、冷静な判断ができるようになることです。




Q11 社会人採用を目指す人へのメッセージをお願いします。





特別な知識や経験が必要ではありません。私も初めは右も左もわからないことばかりでしたが、必要な知識は働きながら身につけていけます。

一番大切なのは、労働局で働きたいという意志です。働きながら勉強されている方も退職されて勉強に専念されている方も、試験勉強は大変です。労働局で働く自分の姿を想像しながら生活してください。それが活力になります。



労働行政は、働く人々や地域経済にとって重要な仕事であり、やりがいもあります。これまでの社会人経験は広い視野で業務にあたるという意味においてきっと役に立つと思います。ぜひ一緒に働きましょう。



山口労働局ではワークライフバランスを実現することができます。また、入省後は研修制度が多くあり、充実した職業人生を歩むことができます。

皆さんのこれまでの業務経験の中で生かせることができるとおもいますので採用選考に是非チャレンジしてみてください。